

かんがえるって おもしろい！

がくしゅうひかりのくに

週案例

- ・ 保育絵本を活用し、座標の表現に親しむ。
- ・ 切れ端栽培に協力して取り組む。

ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。



ひょうし

- ・ 物語を読み取って感じたり考えたりしたことを伝え合う。
- ・ なぞなぞに楽しく取り組む。



みんなの顔が
映るおもち…？





しゃかい・かがく 2～9ページ

かがみの ふしぎを じっけん！

ねらい

町の鏡をきっかけに鏡の見え方の不思議を実験して楽しむ

活動内容

- ・誌面をよく観察して鏡の見え方の違いに気付く
- ・町で見かける鏡について話し合う



横の景色も
映ってる！

本当だ！

カーブミラーも
広く映るんだね。

環境や援助

- * 見え方の違いに気付くよう写真をよく見るよう声をかける。
- * 「お散歩で鏡を見つけたら覚えておいてね」「どうしてそこに鏡があったのかな？」など言葉をかけ、身近な鏡に気付いたり意味を考えたりできるようにする。



保育がひろがるぞう！ポイント

鏡の実験を楽しみましょう♪

ねらい

友達と試行錯誤しながら実験を楽しむ

活動内容

・鏡の実験を友達と一緒に楽しみ考えを深める

ブランコは
どんな風に見えた？

近づいたり
動いて見えたよ！ 遠くなったりする。

もう1回
見てみようっと…。



環境や援助

- * グループを作って協力して実験できるようにする。
- * 「絵がどんな風に見えたか教えてね」など発表の場を設け、言葉の表現や友達同士での発見の共有ができるようにする。
- * 「カードを合わせたらどうなるかな？」など発展につながる言葉をかける。



ことば 10～13 ページ

だれが どこで なにをした？

ねらい

しかけを変化させて文を作ることを
楽しみながら『が』『で』『を』の役
割に気付く

活動内容

- ・主語や述語、助詞など文の構成に気付きながら
お話の内容が変わることを楽しむ
- ・作った文を友達に見せたりして遊ぶ

「おばけが」「もりで」
「たまのりをした」！

見て見て、私は
「いるかが」
「もりで」
「たまのりをした」！



「だれが」が
変わると面白いね！



環境や援助

- ＊「『だれが』が変わると全然違うお話になるね！」など文の要素や助詞について強調して伝える。
- ＊紙や画材を用意しオリジナルのカードを作れるようにしておく。



しぜん・かがく 14～19 ページ

すてちゃう きれはし、みずに つけたら…？

ねらい

野菜のパワーを感じ栽培を楽しむ

活動内容

- ・野菜にパワーがあることに驚き興味を持つ
- ・切れ端をクラスで協力して育てる



どんな野菜の端っこを
育ててみたい？

ブロッコリー！
どんな風に育つのか
見てみたい！



玉ねぎは
どうかな？

本当に
できるのかな？



環境や援助

- ＊「野菜にはこんなパワーがあるんだね」と大事に食べることを促す。
- ＊どんな野菜の端っこを育ててみたいかクラスで話し合う。
- ＊栽培のお世話の方法や当番を話し合って決める機会を作る。
- ＊成長の過程を記録できるよう用意しておく。



かずの おはなし 22～33 ページ

おんせんに いったよ！

ねらい

上下左右の軸を使った
物の伝え方に親しむ

活動内容

- ・ 順序数を振り返る
- ・ 座標の表現に親しみながらお話を楽しむ



先生はりんごジュースを
飲みたいな。
どこにあるか教えて！

上から1番目で…

右からは3番目！



環境や援助

- *『○番目』の数え方の復習として6月号の順序数を振り返る。
- *「りんごジュースはどこにある？」など課題以外でも誌面を使って繰り返し座標の表現を声に出せるようにする。



保育がひろがるぞう！ポイント

生活の中でも意識的に座標の表現を使いましょう！

ねらい

座標の表現に親しむ

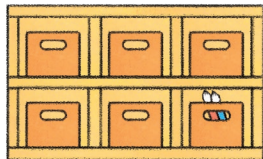
活動内容

・生活の中で座標の表現を用いる

絵の具は棚のどこにあるかな？
上から何番目？ 右から何番目？



わかるよ！
上から2番目で
右から1番目だよ。



環境や援助

- *積極的に座標の表現を用い、慣れるようにする。
- *クラスで繰り返しクイズのように楽しみ、友達の意見を聞けるようにする。



みんなで はなしあおう！ 34-35 ページ

やりたくない遊びに誘われたら

ねらい

自分の考えを言葉にしたり友達の意見を
を聞いたりする楽しさを感じる

活動内容

- ・相手の立場になって気持ちを想像する
- ・友達と気持ちや考えを伝え合う楽しさを感じる

また明日遊ぼって
伝えようかなあ…。



ぼくは鬼ごっこに誘う！



いろんな伝え方があるね。

環境や援助

- *子どもたちの経験を話し聴き合ったり、それぞれの考えを伝え合ったりする時間をとる。
- *思いやる、受け入れることも話題にし話し合いを深める。
- *じっくり時間をとって言い出しにくい子に配慮する。